
ゼロの使い魔 ～カードに刻まれしルーンを力とする者～

ユキルス・エルバート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゼロの使い魔 ｝カードに刻まれしルーンを力とする者｝

【Nコード】

N3216Z

【作者名】

ユキルス・エルバート

【あらすじ】

現実から逃げ、ニートor引きこもり生活を送っていた主人公は車に轢かれそうになった少女を庇って死んでしまった。すると目の前に現れたのはFF零式のクラサメの姿をした神様だった。神様から貰ったFF零式のエースやゼロ魔のスクウェアクラスの魔法の力を持ちいどのような運命^{みち}を歩むのだろうか。そしてエース・ルブルム・シバル・ド・スザクとなった主人公に迫る試練の数々に主人公はどのように立ち向かっていくのか！

第0章 始まり（前書き）

初投稿か、、、やっちゃったな俺、、、、

第0章 始まり

体全体が痛い、やっぱり引きこもりは家から出ない方が良かったのかな、、、

目の前に広がる自分の血、掠れていく自分の目の前には先ほど車に轢かれる所を助けた少女が涙を流しながら「お兄ちゃん」と叫んでいる。

良かった、、、こんな俺でも、、、

助けれたんだ、、、

「ん、ん、ん、ん、んは？」

あれ？さっきまで俺体全体が痛かったのに治ってる、、、何で？

「それは我が直したからよ、後加えて言うのならここは我が聖域よ。」

俺は後ろからかけられた声に反応し振り向く。

なんでFF零式のクラサメさんが？

「これは仮初の姿、貴様が話し易い姿に変化しているだけだ。」

確かに最近でたFF零式はかなりやりこんでいるけどそこまで、

「さて、我は貴様に数点だけ言う事がある。まずは貴様に謝る事がある。」

『、、、俺に謝る事ですか？』

「ああ、まず貴様はあの場では本来なら死なず、あの少女も車に轢かれそうになる事もなかった。」

『でも、現に車は女の子に向かって突っ込んで来ましたよ。』

それで俺は死んだんだし。

「ああ、恥ずかしながら我の部下が間違つて貴様の運命を処理してしまったのだ。本来ならお前は数年後にはやる事を決め、仕事に成功し、幸せな人生を送れた筈だった。」

『つまり俺は、、、元に戻れない、、、』

クラサメさんは静かに頭を下げ、すまないと言ってきた。

「だが、お前が望むならばもう一つの運命を築く事が出来る。」

クラサメさんは三つのゲームに良く出てくる宝箱を用意する。

「この中には、お前の新たな運命が注ぎ込まれている。お前はこの中から一つ選び、新たな幸せを掴む事になる。」

新たな幸せ、新たな運命、この箱の中には俺の新しい世界がある。

俺は三つの宝箱を深く見つめ、その中の一つに手を乗せる。

「そなたの選んだ世界は「ゼロの使い魔」、そして我がそなたに与えるは魔法の力。」

クラサメさんは何かを呟くと、突然俺の体を光の粒子が包み出す。

『なんだ、、これ、、何かが俺に入ってくる、、』

「そなたの姿、そなたの運命が変わっているのだ。」

クラサメさんは自分の全身が写る鏡を取り出す。『この姿って、F零式のエース？うわっカードもある！』

「我の少しでも選別だ、そなたにはF零式のエースの力とゼロの使い魔のスクウェアクラスの魔法力を授ける。」

するとまた俺の体は輝きだし、俺の体の中から違った力が込み上がる。

『ありがとうクラサメさん、俺頑張ってくるよ、、、』

「ああ、ここからはそなたが築く世界だ！」

そして、、、俺の意識はまた、遠くなっていく。

主人公の説明（前書き）

主人公の説明あとこれからの設定

主人公の説明

『主人公』

【名前】

・エース・ルブルム・シバル・ド・スザク

【二つ名】

・焰籠

【性別】

・男

【年齢】

・15歳

【身長】

・168cm

【体重】

・56kg

【髪型】

・ショート

【髪色】

・金色

【目の色】

・水色

【容姿】

・FINAL FANTASY 零式 エース

【武器】

・杖

・カード

【服装】

・魔導院ペリシティリウムの制服

【使い魔】

・FF零式 バハムート

【趣味】

・ゲーム

【好きな物】

・ゲーム

【嫌いな物】

・現実

【補足説明】

・現代でニートor引きこもり生活をしていたマダオの主人公。コンビニに弁当を買いに出かけた際に車に轢かれて死んでしまった。その後、神様によりもう一度人生を与えてもらい「ゼロの使い魔」の世界に転生する。

・ゲームのせいか正義感は一倍感が実力が無いため今まで堪えて来たが、神様に貰ったFF零式の「エース」の力とゼロ魔の魔法クラス全てをスクウェアアークラス並みの力を駆使し戦っている。

第1章 爵位購入

『ファイヤ！ブリザド！サンダー！』

ボワツ！ キーン！ズドンツ！

『はあ、はあ、オーク鬼10体討伐完了、だな。』

転生してから数年、FFシリーズの魔法はある程度は使えるようになり。今拠点としている街でオーク鬼や魔獣などの討伐依頼を受け初めている。やはりこの世界の魔法使いや傭兵などでは太刀打ちは難しく、魔獣一体に対して5〜10人で戦うのが相場らしい。

しかし自分にはそんな輩を雇う金も無いので1人で戦うはめになる。まあその分の収入は高いから今の俺はエキューウハウハである。

『そろそろ、、貴族にでもなろうかな？』

ゼロ魔の本編でも平民は貴族に虐げられる存在だった。そんなみんなを守る為にはやはり自分にも権力という名の力を手に入れなければならないだろう。

『金は溢れるほどあるし、ゲルマニアに行けば爵位や領地だけでも買えるだろ、』

そして俺は拠点としていた名も無き街からゲルマニアに向け足を踏み始めた。

『やっとついたか、帝政ゲルマニア首府ヴィンドボア。』

遠かった、、まさか着くまでに20日もかかるなんて、、

『そっいえば爵位や領地なんてどこで購入出来るんだ？』

俺は近くにいた兵士を捕まえて役所の場所を聞き出し、やっとのと目的の役所に着くことができた。

その後、侯爵の位を購入し小さいが領地も一緒に購入できた。

爵位や領地はかなり高いと思っていたが、現在持っている資金の5分の1程度でことはたりた。

やはりどの時代でも金稼ぎは大切なのだと改めて心に刻む。

ザワザワザワザワ

「ん？なんだあの人の集まりは、」

近くの宿を探していると広場の方で人ばかりを見つける。

そこには手錠や鎖をつけられた人々が商人によって売られている光景があった。

奴隷商人、かつてのヨーロッパにも存在した人間の糞の人種である。

「さあて！お次は元貴族の令嬢であった女の子！まだまだ可愛い容姿を持っており、あなたの体を安らげる事間違いないだ！」

目に涙を溜めた女の子が奴隷商人に首につけられた鎖を引っ張られ前に出てくる。

「それではまず！10エキューから！」

20エキュー！30！40！

糞みたいな人間が次々と反応しだし、次々と値段を出していく。

ム力つく、、

第1章 +少女（前書き）

奴隷女の子の心境です。

第1章 + 少女

(少女 side)

嫌、もう嫌、こんなの、、

次々と私の体を見てくる男達が私に対しての値段を言ってくる。

どんな男を見てもわかる、みんな私の体目当てだ。

(お願いやめて！もうやめて！！)

『なら僕は！100エキューだ！！』

また、、あれ、、

気がつく就先ほどまで騒がしかった広場は何故か静まり返っていた。

私は下げていた顔を上げると、そこには金髪の青年が人々を割りながら歩いていった。

『どうなんだ！他に出す奴はいるのか！！』

彼は威圧を発しながら広場の人々に届くぐらいの声で叫ぶ。

しばらくすると商人は青年から金を請求しだし、青年から金をとる。

私は青年に連れられ、近くにあった宿に入る

（駄目だ、、この人も他の奴らと、、同じだ、、）

『もう大丈夫だよ、だから泣かなくて大丈夫だよ。』

第1章 +少女（後書き）

できれば次回の主人公をカッコ良く書きたいなあ（願望）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3216z/>

ゼロの使い魔 ～カードに刻まれしルーンを力とする者～

2011年12月13日02時50分発行